

東	員	町	国	民	健	康	保	険											
第	3	期	デ	ー	タ	ヘ	ル	ス	計	画									
第	4	期	特	定	健	康	診	査	等	実	施	計	画						

令	和	6	年	度	～	令	和	11	年	度
---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	---

目次

第3期データヘルス計画

 …第4期特定健康診査等実施計画とします。

1 基本的事項

- (1) 計画の趣旨 . . . P1
- (2) 計画期間 . . . P2
- (3) 実施体制・関係者連携等 . . . P2

2 現状の整理

- (1) 保険者の特性 . . . P3
- (2) 前期計画等に係る考察 . . . P5

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

- (1) 特定健診の状況 . . . P10
- (2) 医療費の状況 . . . P17
- (3) 介護の状況 . . . P23
- (4) 健康課題の抽出・明確化 . . . P27

目次

4 目標

- (1) 全体目標 . . . P28
- (2) 個別保健事業 . . . P29

5 保健事業の内容

- (1) 特定健診 . . . P30
- (2) 特定保健指導 . . . P31
- (3) 糖尿病性腎症重症化予防 . . . P32
- (4) 重複頻回受診/重複・多剤服薬 . . . P33
- (5) 後発医薬品使用促進 . . . P34

6 第4期特定健康診査等実施計画

- (1) 基本的事項 . . . P35
- (2) 特定健康診査 . . . P40
- (3) 特定保健指導 . . . P44
- (4) 年間スケジュール . . . P48

目次

7	計画の評価・見直し	・ ・ ・ P49
8	計画の公表・周知	・ ・ ・ P49
9	個人情報の取扱い	・ ・ ・ P50
10	地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	・ ・ ・ P50

1 基本的事項

(1) 計画の趣旨

近年、特定健康診査及び後期高齢者に対する健康診査（以下「特定健診等」という。）の実施や診療報酬明細書（以下「レセプト」という。）等の電子化の進展、国保データベース（KDB）システム（以下「KDB」という。）等の整備により、市町村国保、国保組合及び後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）（以下「保険者等」という。）が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでいます。

こうした中、平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされ、健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を計画した上で、保健事業の実施・評価・改善等を行ってきました。

その後、平成30年4月から市町村国保は都道府県が財政運営の責任主体として共同保険者となり、令和2年7月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2020（骨太方針2020）」において、保険者のデータヘルス計画の標準化等の取組の推進が掲げられ、令和4年12月に経済財政諮問会議における「新経済・財政再生計画改革工程表2022」において「保健者が策定するデータヘルス計画の手引きの改訂等を行うとともに、当該計画の標準化の進展にあたり、保険者共通の評価指標やアウトカムベースでの適切なKPIの設定を推進する」と示されました。

こうした背景を踏まえ、全ての保険者がデータヘルス計画を策定し、効果的・効率的な保険事業の実施に向けた標準化の取組や評価指標の設定により、幅広い年代の被保険者ごとの健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業に取り組むことにより、健康の保持増進、生活の質（QOL）の維持及び向上を図り、結果として医療費の適正化に資することを目的としています。

1 基本的事項

(2) 計画期間

第3期データヘルス計画期間は、三重県における医療費適正化計画や医療計画等が、令和6年度から11年度までを次期計画期間としていることから、これらとの整合性を図る観点から同様の計画期間とします。

(3) 実施体制・関係者連携等

計画は、保険担当部局が主体となり策定等を行います。なお、住民の健康の保持増進には幅広い部局の関わりが必要となることから、健康づくり部局及び介護部局が計画策定等に参画します。

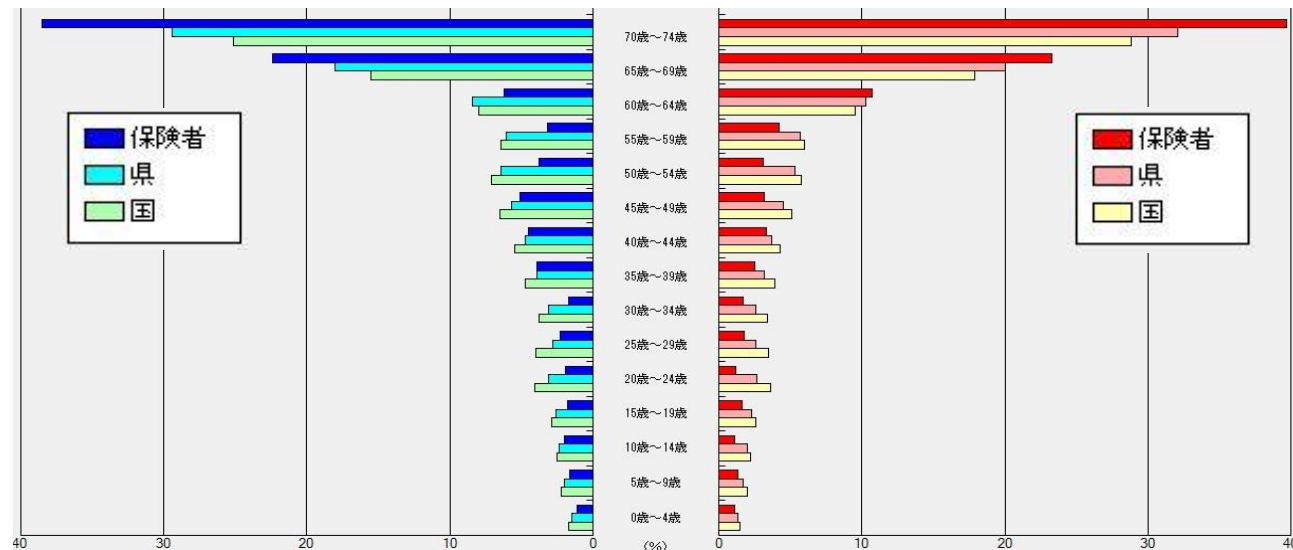
また、計画の実効性を高めるために、国民健康保険団体連合会（以下「国保連」という。）及び国保連に設置される評価委員会（外部有識者）の支援や、三重県の保険担当部局との連携を図ります。

2 現状の整理

(1) 保険者の特性

全人口:25,760人(男性 12,593人 48.9%、女性 13,167人 51.1%) 高齢化率:31.1% R04年度

R04年作成		国保				後期高齢者			
加入者		4,868人				3,850人			
		男性	2,181人 44.8%	女性	2,687人 55.20%	男性	1,755人 45.6%	女性	2,095人 54.4%
加入率		東員町		県	東員町		県		
		18.9%		19.9%	14.9%		16.8%		
年齢構成 (人数)	39歳以下	688人		14.1%	19.8%	—		—	—
	40～64歳	1,159人		23.8%	30.3%	—		—	—
	65～74歳	3,021人		62.1%	49.9%	14人		0.4%	0.7%
	75歳以上	0人		0.0%	0.0%	3,836人		99.6%	99.3%
平均年齢		59.7歳		55.8歳	81.3歳		82.4歳		



人口・被保険者構成(KDBシステム:地域の全体像の把握—人口構成、被保険者 R04年度)

	年齢	男性		女性	
		人数	割合	人数	割合
国保	0-9歳	57人	2.60%	63人	2.30%
	10-19歳	82人	3.80%	74人	2.80%
	20-29歳	92人	4.20%	82人	3.10%
	30-39歳	124人	5.70%	114人	4.20%
	40-44歳	99人	4.50%	90人	3.30%
	45-49歳	112人	5.10%	87人	3.20%
	50-54歳	83人	3.80%	83人	3.10%
	55-59歳	69人	3.20%	113人	4.20%
	60-64歳	136人	6.20%	287人	10.70%
	65-69歳	488人	22.40%	627人	23.30%
	70-74歳	839人	38.50%	1,067人	39.70%
	計	2,181人	100.00%	2,687人	100.00%

後期	75歳未満	6人	0.30%	8人	0.40%
	75-79歳	868人	49.50%	907人	43.30%
	80-84歳	578人	32.90%	530人	25.30%
	85-89歳	214人	12.20%	344人	16.40%
	90-94歳	71人	4.00%	224人	10.70%
	95-99歳	16人	0.90%	70人	3.30%
	100歳～	2人	0.10%	12人	0.60%
	計	1,755人	100.00%	2,095人	100.00%

・国保加入者の年齢構成において、前期高齢者(65～74歳)の割合が突出している。

2 現状の整理

(1) 保険者の特性

	男			女		
	平均余命	平均自立期間	不健康期間	平均余命	平均自立期間	不健康期間
保険者	83.1	81.7	1.4	87.4	84.1	3.3
(95%信頼区間)	84.5	81.7	83.0	85.9	82.8	
県	81.9	80.4	1.5	87.6	84.3	3.3
(95%信頼区間)	82.2	81.7	80.6	87.4	84.1	
同規模	81.8	80.4	1.4	87.7	84.5	3.2
(95%信頼区間)	82.0	81.7	80.5	87.6	84.4	
国	81.7	80.1	1.6	87.8	84.4	3.4
(95%信頼区間)	81.7	80.1		87.7	84.4	

・男性の「平均余命」「平均自立期間」は、県平均より高い。

平均寿命と平均自立期間(要介護2以上)(KDBシステム:地域の全体像の把握 R04年度)

	病院数	千人当たり病院数		診療所数	千人当たり診療所数		病床数	千人当たり病床数		医師数	千人当たり医師数	
		国保	後期		国保	後期		国保	後期		国保	後期
保険者	2	0.4	0.5	14	2.9	3.6	489	100.5	127.0	28	5.8	7.3
県	93	0.3	0.3	1,504	4.6	5.2	19,421	59.2	66.8	4,298	13.1	14.8
同規模	265	0.3	0.4	2,753	3.1	4.1	49,546	56.1	74.5	9,765	11.1	14.7
国	8,237	0.3	0.4	102,599	4.2	5.3	1,507,471	61.1	77.9	339,611	13.8	17.5

医療機関情報(KDBシステム:地域の全体像の把握(国保) R04年度)

2 現状の整理

(1) 保険者の特性

国民健康保険の状況は、被保険者は減少していますが、国保加入者の6割以上が前期高齢者であり、町の人口に対する65歳以上の高齢者の割合(高齢化率)も31.1%です。

健康への関心が高い前期高齢者の割合が高いことから、特定健診の受診率は県平均を超えて高い割合ですが、医療の受診率についても県平均を超えて高い割合となっています。

(2) 前期計画等に係る考察

本町では、健康保持による医療費適正化と健康づくりの推進のための保健事業を実施しています。これまでに実施した保健事業について考察を行います。

(前期に設定したデータヘルス計画全体の目標)

〈目的〉 生活習慣病の発症及び重症化を予防し、健康寿命の延伸を図る。

〈目的を達成するための目標〉

【目標1】糖尿病の発症及び重症化の予防

最終年度目標値: 受診勧奨した方の100%を治療に繋げる

令和4年度実績値: 36.4%

【目標2】特定保健指導実施率の向上

最終年度目標値: 電話勧奨した方の35%が特定保健指導を利用

令和4年度実績値: 15.5%

2 現状の整理

（目標の達成状況）

データヘルス計画において設定した数値目標については、計画最終年度において達成は困難である。

数値目標においては、健康への無関心層へ積極的に勧奨を行う意図から、対象者全員について取りこぼしなく勧奨することを前提として設定し、実際に取組んで来た。

しかしながら、勧奨通知を発送後に電話での勧奨を行う方法では、電話に出られない方も多く、せっかく連絡の繋がった方においても関心の低さから結果が出ていない。

目的を達成するためには多様な方法で取組む必要があり、成果を確認するために必要な定量的な目標としては十分ではなかったと言える。

一方、定性的な評価としては、保健指導に至った対象者から概ね好意的な評価をいただいております、また勧奨したが保健指導に至らなかった方達の中には、以後この様な勧奨をされなくてもよい健康状態を維持するので保健指導は遠慮するといった声も複数あった。

対象者全員に保健指導の案内をすることで、実際の行動には至らなくても健康への考え方に影響を与えることができ、数値として現れない効果があった事等、生活習慣病の発症及び重症化を予防することに寄与していると思われる。

2 現状の整理

(健康保持による医療費適正化の推進事業) ※目標値と実績値を見比べて、4段階で評価(a:改善している/b:変わらない/c:悪化している/d:評価困難)

事業名	事業の目的及び概要	対象者	実施状況・時期	目標値	実績値	評価 ※	成功・推進要因	未達要因 (課題及び阻害要因)
特定健診	【目的】 特定健診の実施率向上 【概要】 集団健診、人間ドック、個別健診の実施。受診率向上のため、過去3年間の受診状況により4つのグループに分け、特性に応じた受診勧奨を実施。	40～74歳	7月～11月 10月に未受診者へ受診勧奨はがきを送付 勧奨対象者:3,856人 受診者数:1,845人 受診率:47.8%	特定健診受診率 57%	51.80%	a	目標値には届いていないが、年々上昇している健康への関心が高い層において、がん検診とセットで受診できる集団健診と人間ドックの受診希望が多く、概ね評判も良い。	40～49歳の層が特定健診未受診でかつ医療機関も受診していない割合が高い。40歳前の被保険者に対してアプローチする事例もあるため、有効性について検討する。
特定保健指導	【目的】 メタボリックシンドローム該当者の減少 【概要】 特定健診の結果から対象者に保健指導を実施。受診率向上のため対象者全員に電話で保健指導の利用を勧奨。	40～74歳 特定健診結果により基準に該当した者	10月～翌年9月	電話勧奨した方の30%が特定保健指導を利用	15.5%	c		対象者を抽出した後、電話勧奨と保健指導を全て委託している。人員不足により直営で行うことができないため、ICTを活用した事業などを検討する。

2 現状の整理

事業名	事業の目的及び概要	対象者	実施状況・時期	目標値	実績値	評価 ※	成功・推進要因	未達要因 (課題及び阻害要因)
糖尿病性腎症重症化予防事業	【目的】 糖尿病の発症及び重症化の予防 【概要】 重症化(人工透析への移行等)を防ぐ様、保健指導を実施	40～74歳 特定健診結果により2型糖尿病 (HbA1c6.5%以上または空腹時血糖126mg/dl以上)かつ尿蛋白(+)以上	対象者に受診勧奨訪問又は電話:33件 勧奨後の受診:12件	受診勧奨した方の90%を治療に繋げる	36.4%	d		限られた人員で可能な限り取り組んだが、他の疾病等で通院中であつたり、症状がないことから放置している方が多数いる。目標値を高く見積もり過ぎている。
後発医薬品(ジェネリック)差額通知事業	【目的】 健康に対する意識の高揚や後発医薬品の使用促進 【概要】 ジェネリック医薬品の自己負担軽減額通知の実施	ジェネリック医薬品へ切り替えることにより、自己負担額の削減額が大きい被保険者	2月通知 切替率:14.4%	数量シェア割合80%	80.5%	a	「ジェネリックを希望する」と書かれた被保険者証のカードケースを全員に配布しており、その際に医療費適正化への理解も概ねいただけている	ジェネリック医薬品の供給不足の長期化等により、ジェネリック医薬品でなくてもしかたがないとの声もある。
医療費通知事業	【目的】 健康に対する意識の高揚や医療費適正化 【概要】 医療費通知の実施	被保険者全員	1月通知	—	—	—	医療費控除に必要な方は細かく内容を確認いただいている。	

2 現状の整理

(健康づくりの推進事業)

事業名	目的	概要	効果・課題
がん検診事業	がんによる死亡率や罹患率の低減	がん検診による早期発見・早期治療のため検診を実施	受診率に大きな増加はなく、横ばいの状況です。がん検診に関するPRや適切な受診方法についての講座など積極的に啓発し、受診促進を図っていきます。
肝炎ウイルス検診事業	肝がんの罹患率の低減	肝炎ウイルスによる感染の早期発見・早期治療のため検診を実施	肝炎ウイルス検診の一層の受診促進を図るため、特定の年齢の方に対する個別勧奨に取り組んでいきます。
歯周病検診事業	歯の喪失予防	歯を失う大きな原因となっている歯周病の予防と早期発見のため検診を実施	特定の年齢の方に対する個別勧奨に取り組んでいきます。また、歯周病が身体に及ぼす影響について、周知を図って行く必要があります。
歯周病予防教室事業	歯周病及び歯周病が影響する生活習慣病の発症予防	歯科衛生士による歯周病と口腔衛生について講義とブラッシング指導を実施	参加者の年代が高いため、幅広い年代が参加いただけるよう、若い世代への働きかけを工夫していく必要があります。
糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病の重症化予防による新規透析導入者の減少	重症化のリスクが高い方に対し、医療機関と連携し、受診勧奨や生活習慣の改善の指導を実施	4年度は受診勧奨した52名のうち、21名が治療に繋がりました。今後も、糖尿病性腎症に対する理解を深めてもらい、受診促進を図っていきます。
糖尿病教室事業	糖尿病の発症予防	管理栄養士による栄養指導・調理実習と健康運動指導士による運動講義と実践を実施	受講効果を検証するため、4回シリーズで教室を開講しています。今後は、受講者の検査値の改善効果の検証やアンケートによる課題の整理を行っていきます。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(1) 特定健診の状況

① 年齢階層別特定健診受診率の推移(特定健康診査等の実施に関する結果報告(法定報告))

項目	男								女								保険者全体
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	全体	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	全体	
令和2年度(%)	20.2%	16.1%	23.9%	17.8%	32.0%	56.3%	54.3%	47.3%	31.0%	35.4%	42.7%	36.3%	46.8%	57.2%	58.6%	53.7%	50.8%
令和3年度(%)	18.8%	18.6%	29.4%	21.4%	35.7%	55.1%	54.5%	47.3%	25.7%	33.3%	42.7%	38.2%	46.5%	56.7%	57.5%	52.9%	50.4%
令和4年度(%)	24.1%	21.4%	27.5%	19.0%	44.2%	55.7%	55.8%	48.8%	28.2%	30.7%	41.3%	39.4%	46.8%	54.7%	61.7%	54.2%	51.8%

② 年齢階級別特定保健指導実施率(特定健康診査等の実施に関する結果報告(法定報告))

項目	男								女								保険者全体
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	全体	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	全体	
R2度_実施率(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	7.1%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	18.2%	16.7%	13.6%	9.6%
R2度_動機付(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	7.1%	8.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	18.2%	16.7%	15.0%	10.8%
R2度_積極的(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
R3度_実施率(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	9.1%	2.7%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	6.3%	6.7%	5.7%
R3度_動機付(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	9.1%	2.7%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.6%	6.3%	7.5%	6.7%
R3度_積極的(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
R4度_実施率(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	2.4%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.2%	16.7%	7.4%	10.6%	6.0%
R4度_動機付(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	2.4%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	16.7%	7.4%	10.2%	6.3%
R4度_積極的(%)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	14.3%	4.2%

・特定健診においては、令和2年度以降は受診率50%以上と高い受診率を維持している。
 ・特定保健指導においては、各年度10%未満と低い。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(1) 特定健診の状況

③ 健診質問票の状況(KDBシステム:地域の全体像の把握_健診質問票調査の状況) R04年度

赤字…割合が県平均以上

国保	男性		女性	
	自保険者	県	自保険者	県
服薬_高血圧症	45.8%	45.2%	34.9%	34.5%
服薬_糖尿病	12.3%	13.2%	5.1%	6.9%
服薬_脂質異常症	25.2%	28.5%	32.1%	34.7%
既往歴_脳卒中	5.1%	5.4%	2.2%	2.4%
既往歴_心臓病	10.7%	9.1%	4.1%	3.6%
既往歴_腎不全	1.5%	1.4%	0.5%	0.7%
既往歴_貧血	4.6%	5.5%	15.0%	15.0%
喫煙	19.3%	21.7%	2.3%	4.5%
20歳時体重から10kg以上増加	44.9%	43.9%	27.6%	26.4%
1回30分以上の運動習慣なし	55.1%	58.3%	63.8%	64.7%
1日1時間以上運動なし	54.4%	54.5%	53.3%	55.3%
歩行速度遅い	53.0%	54.9%	56.4%	59.7%
食べる速度が速い	27.9%	31.7%	21.9%	23.6%

国保	男性		女性	
	自保険者	県	自保険者	県
週3回以上就寝前夕食	11.7%	16.3%	6.4%	8.1%
週3回以上朝食を抜く	6.8%	9.7%	4.3%	5.5%
毎日飲酒	42.9%	38.4%	8.3%	8.5%
1日飲酒量(1合以上)	41.8%	41.5%	6.8%	8.8%
睡眠不足	15.6%	18.4%	21.7%	20.9%
改善意欲なし	33.7%	33.5%	27.9%	26.6%
改善意欲あり	24.1%	26.1%	27.9%	28.3%
改善意欲ありかつ始めている	11.7%	13.5%	13.8%	16.1%
取り組み済み6ヶ月未満	8.2%	6.9%	8.6%	8.3%
取り組み済み6ヶ月以上	22.3%	19.9%	21.8%	20.6%
保健指導利用しない	70.7%	66.3%	68.0%	61.9%
咀嚼_かみにくい、殆ど噛めない	25.7%	27.5%	21.2%	21.7%
間食_毎日	12.6%	14.9%	30.1%	28.0%

・男女とも「改善意欲なし」「保健指導利用しない」と回答した割合が県平均より多い。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(1) 特定健診の状況

③ 健診質問票の状況(KDBシステム:地域の全体像の把握_健診質問票調査の状況) R04年度

後期	男性		女性	
	自保険者	県	自保険者	県
健康状態_よい、まあよい	40.2%	41.2%	36.8%	36.8%
健康状態_あまりよくない、よくない	10.6%	10.0%	9.2%	10.8%
心の健康状態_満足、やや満足	92.9%	92.5%	94.8%	92.7%
心の健康状態_やや不満、不満	7.1%	7.5%	5.2%	7.3%
食習慣_1日3食きちんと食べる	96.3%	95.8%	97.3%	96.2%
口腔機能_固いものが食べにくい	26.8%	28.3%	28.5%	31.9%
口腔機能_お茶や汁物等でむせる	18.3%	20.7%	20.6%	22.0%
体重変化_体重減少	12.9%	13.4%	13.8%	13.3%
運動転倒_歩く速度が遅い	52.9%	56.6%	61.4%	62.8%
運動転倒_この1年間に転んだ	13.7%	17.4%	16.4%	21.2%
運動転倒_運動を週に1回以上	64.7%	61.1%	56.8%	53.5%
認知機能_同じことを聞くなどの物忘れあり	16.4%	18.0%	16.1%	19.3%
認知機能_今日の日付がわからない時あり	24.8%	25.6%	25.4%	26.3%

後期	男性		女性	
	自保険者	県	自保険者	県
喫煙_吸っている	10.1%	8.1%	1.7%	1.3%
社会参加_週に1回以上は外出	92.6%	90.0%	91.1%	87.5%
社会参加_家族や友人と付き合いがある	94.0%	93.5%	97.6%	96.3%
ソーシャルサポート_身近に相談できる人	94.3%	94.8%	97.2%	96.6%
服薬状況_高血圧割合	64.7%	65.9%	65.5%	68.4%
服薬状況_糖尿病割合	19.7%	20.2%	12.2%	12.6%
服薬状況_脂質異常症割合	33.5%	38.6%	46.9%	50.0%
※服薬状況_1ヵ月あたりの内服種類数	3.63	4.08	3.95	4.24
※受診状況_1ヵ月あたりの受診医療機関数	0.83	0.85	0.84	0.88
受診状況_半年間の病院等受診割合	97.3%	97.4%	96.5%	98.0%
受診状況_半年間の歯科受診割合	50.6%	54.1%	50.4%	51.9%
服薬状況_睡眠薬割合	19.0%	19.7%	30.9%	29.5%

・男女とも「運動を週に1回以上」「週に1回以上は外出」と回答した割合が県平均より高く、健康への意識の高さが窺える。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(1) 特定健診の状況

④ 基準値該当の状況(KDBシステム:厚労省様式5-2 健診有所見者の状況) R04年度

	国保				後期			
	男性		女性		男性		女性	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
受診者	807		1,158		804		918	
BMI	251	31.1%	244	21.1%	198	24.6%	210	22.9%
腹囲	441	54.6%	225	19.4%	57	7.1%	48	5.2%
中性脂肪	196	24.3%	204	17.6%	17	2.1%	23	2.5%
GPT	139	17.2%	119	10.3%	22	2.7%	8	0.9%
HDL-C	68	8.4%	15	1.3%	35	4.4%	9	1.0%
LDL-C	359	44.5%	667	57.6%	117	14.6%	196	21.4%
空腹時血糖	262	32.5%	198	17.1%	46	5.7%	20	2.2%
HbA1c	441	54.6%	565	48.8%	121	15.0%	81	8.8%
尿酸	134	16.6%	17	1.5%	33	4.1%	13	1.4%
収縮期血圧	362	44.9%	617	53.3%	252	31.3%	368	40.1%
拡張期血圧	164	20.3%	242	20.9%	61	7.6%	92	10.0%
心電図	355	44.0%	458	39.6%	488	60.7%	438	47.7%
eGFR	244	30.2%	298	25.7%	99	12.3%	109	11.9%

※国保は保健指導判定値以上、後期は受診勧奨判定値

・国保加入者の保健指導判定値以上の項目の割合において、男性は「腹囲」「HbA1c」、女性は「LDL-C」「収縮期血圧」が50%を超えている。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(1) 特定健診の状況

⑤ メタボ該当の状況（KDBシステム：厚労省様式5-3メタボリックシンドローム・予備群状況） R04年度

		男性			女性		
		人数	割合	県割合	人数	割合	県割合
予備群	血糖	7	0.9%	1.0%	2	0.2%	0.3%
	血圧	93	11.5%	11.9%	56	4.8%	4.1%
	脂質	29	3.6%	4.4%	11	0.9%	1.5%

該当者	2つ重複	195	24.2%	23.7%	95	8.2%	8.4%
	3つ重複	72	8.9%	12.1%	48	4.1%	4.1%

・メタボ該当者の男性のうち「血糖」「血圧」「脂質」の2つ重複に該当する者の割合が県平均を超えているが、メタボ予備群及び該当者は、全体として概ね平均的な割合となっている。
 ・受診勧奨率が60%を超えており、非受診率、未治療者率の割合が県平均より高い割合となっている。

非肥満高血糖	人数	割合	県割合
	162	8.2	9.1

⑥ 特定健診受診者・未受診者1件当たり医科医療費（KDBシステム：地域の全体像の把握） R04年度

項目	保険者	県	同規模	国
受診者（円）	2,341	2,298	2,519	2,533
未受診者（円）	3,788	3,934	4,323	4,322

⑦ 受診勧奨率、受診勧奨者医療機関受診率・非受診率、未治療者率（KDBシステム：地域の全体像の把握） R04年度

項目	保険者	県	同規模	国
受診勧奨者率（%）	60.3	57.6	57.9	57.1
受診率（%）	55.7	53.5	52.3	52.5
非受診率（%）	4.5	4.1	5.6	4.6
未治療者率（%）	5.0	3.1	5.1	3.7

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(1) 特定健診の状況

- ⑧ 運動習慣の状況(KDBシステム:地域の全体像の把握_健診質問票調査の状況) R04年度
(質問票「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している」の質問に「いいえ」と回答した割合)

	年代	男性			女性			合計		
		「いいえ」	受診者	率	「いいえ」	受診者	率	「いいえ」	受診者	率
特定健診	40-45	14	20	70.00%	17	22	77.27%	31	42	73.81%
	45-49	17	23	73.91%	19	23	82.61%	36	46	78.26%
	50-54	13	19	68.42%	19	26	73.08%	32	45	71.11%
	55-59	7	11	63.64%	25	37	67.57%	32	48	66.67%
	60-64	30	50	60.00%	77	111	69.37%	107	161	66.46%
	65-74	123	234	52.56%	203	315	64.44%	326	549	59.38%
	70-74	241	450	53.56%	375	618	60.68%	616	1,068	57.68%
	40-74計	445	807	55.14%	735	1,152	63.80%	1,180	1,959	60.23%

- ・どの年代でも半数以上の割合で運動習慣がないと回答している。
- ・若い年代ほど「いいえ」と回答した割合が多い。
- ・女性の方が「いいえ」と回答した割合が多い。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(1) 特定健診の状況

⑨ CKD該当者の状況(参考)(KDBシステム:健診ツリー図(健診受診者の対象者一覧、後期高齢者の健診結果一覧) R04年度

国 保

原疾患			糖尿病	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
			高血圧・腎炎など	正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
尿蛋白区分			A1	A2	A3	
GFR区分 (ml/分/1.73m ²)			尿蛋白・eGFR 両方実施	(-) 1,720	(±) 161	(+) 以上 79
			1,960	87.8%	8.2%	4.0%
G1	正常または高値	90以上	109	97	10	2
			5.6%	4.9%	0.5%	0.1%
G2	正常または軽度低下	60-90未満	1,309	1,164	108	37
			66.8%	59.4%	5.5%	1.9%
G3a	軽度～中等度低下	45-60未満	494	427	40	27
			25.2%	21.8%	2.0%	1.4%
G3b	軽度～高度低下	30-45未満	40	31	3	6
			2.0%	1.6%	0.2%	0.3%
G4	高度低下	15-30未満	6	0	0	6
			0.3%	0.0%	0.0%	0.3%
G5	末期腎不全(EKSD)	15未満	2	1	0	1
			0.1%	0.1%	0.0%	0.1%

後 期

原疾患			糖尿病	正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
			高血圧・腎炎など	正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
尿蛋白区分			A1	A2	A3	
GFR区分 (ml/分/1.73m ²)			尿蛋白・eGFR 両方実施	(-) 1,269	(±) 201	(+) 以上 214
			1,684	64.7%	10.3%	10.9%
G1	正常または高値	90以上	45	30	10	5
			2.3%	1.5%	0.5%	0.3%
G2	正常または軽度低下	60-90未満	798	632	97	69
			40.7%	32.2%	4.9%	3.5%
G3a	軽度～中等度低下	45-60未満	640	489	69	82
			32.7%	24.9%	3.5%	4.2%
G3b	軽度～高度低下	30-45未満	170	108	19	43
			8.7%	5.5%	1.0%	2.2%
G4	高度低下	15-30未満	29	10	5	14
			1.5%	0.5%	0.3%	0.7%
G5	末期腎不全(EKSD)	15未満	2	0	1	1
			0.1%	0.0%	0.1%	0.1%

・「尿蛋白区分」「GFR区分」の進行した対象者の割合が、国保と後期を比較すると後期の方が多い。加齢とともに悪化する傾向が窺える。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(2) 医療費の状況

① 保険者の医療費全体の特徴(KDB:地域の全体像の把握) R04年度:以下のどの要素が多くなっているか把握する

	国保	後期高齢者	介護
医療費(介護給付費)	2,117	2,867	1,523
入院/外来	847 / 1,271	1,369 / 1,499	
歯科	147	124	

② 保険者の医療費全体の特徴(KDB:地域の全体像の把握) R04年度

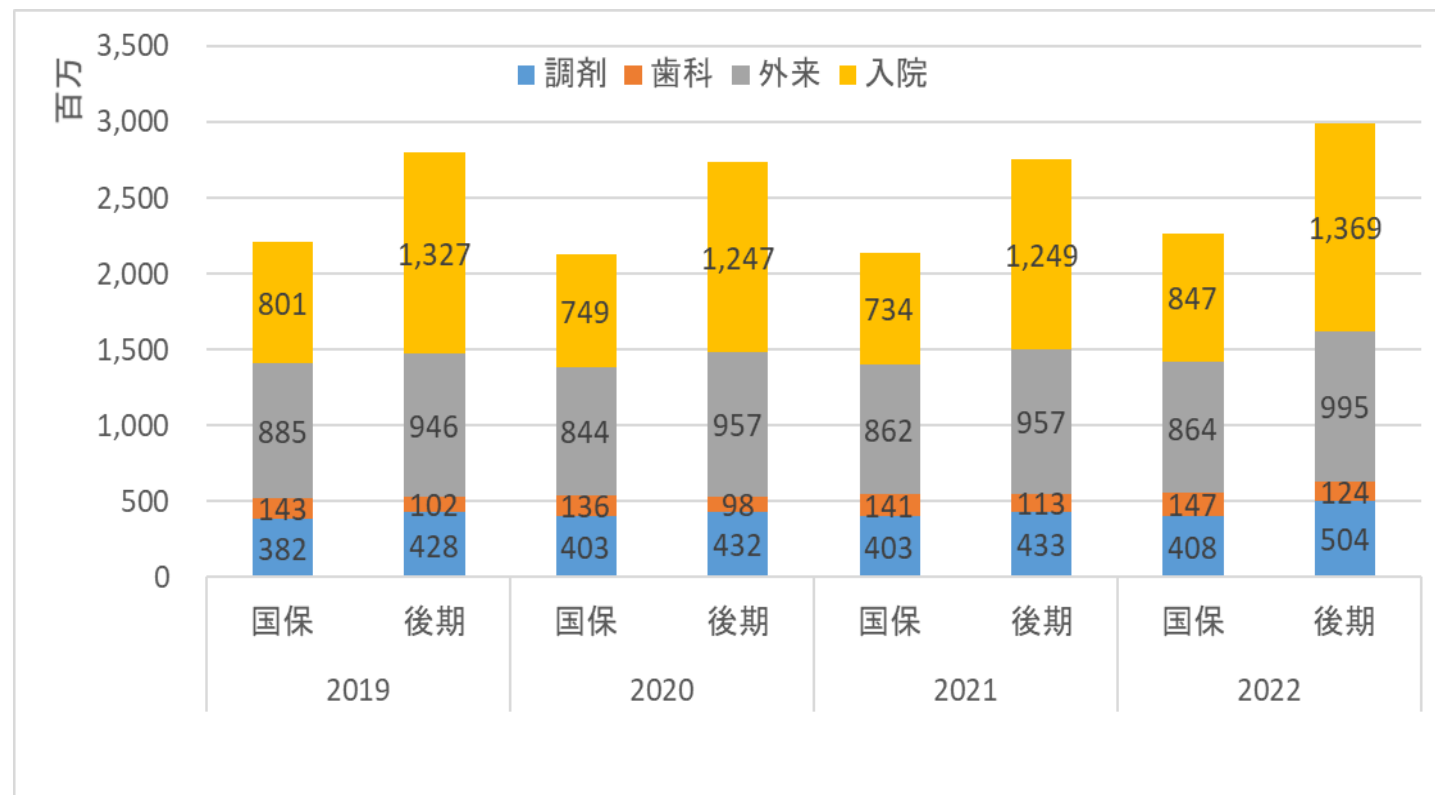
項目		1人当たり医療費(円)				受診率(%)				1件当たり医療費(円)			
		保険者	県	同規模	国	保険者	県	同規模	国	保険者	県	同規模	国
国保	合計	434,976	382,903	361,243	358,522	938.6	824.59	735.30	728.39	37,484	37,354	39,624	39,873
	入院	173,960	152,977	146,073	143,781	21.9	20.26	19.20	18.81	642,518	607,477	613,590	619,087
	外来	261,016	229,926	215,170	214,741	916.7	804.33	716.10	709.58	23,030	22,996	24,234	24,516
後期	合計	744,782	761,171	821,624	839,868	1,376.4	1346.21	1278.36	1308.89	46,725	47,933	54,626	54,369
	入院	355,555	374,115	429,778	434,546	52.0	51.44	59.40	59.08	590,802	616,572	614,993	623,168
	外来	389,227	387,056	391,846	405,321	1,324.4	1294.78	1218.97	1249.80	25,377	25,342	27,322	27,479
合計国保後期の差(国保=1)		1.7	2.0	2.3	2.3	1.5	1.6	1.7	1.8	1.2	1.3	1.4	1.4

・国保後期ともに、受診率が県や国、同規模市町と比較して突出している。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(2) 医療費の状況

③ 医療費の経年変化(KDB:健康スコアリング(医療))



2019を1としたとき

		2020	2021	2022
国保	調剤	1.06	1.06	1.07
	歯科	0.95	0.99	1.03
	外来	0.95	0.97	0.98
	入院	0.93	0.92	1.06
	全体	0.96	0.97	1.02
後期	調剤	1.01	1.01	1.18
	歯科	0.96	1.11	1.21
	外来	1.01	1.01	1.05
	入院	0.94	0.94	1.03
	全体	0.98	0.98	1.07

- ・国保は被保者数が減少しているにも拘らず減少していない。
- ・後期は歯科の医療費が特に増加している。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(2) 医療費の状況

④ 疾患別医療費の特徴(KDB:健康スコアリング(医療) R04年度
大分類(KDB:健康スコアリング(医療) 医療費＝百万円単位

順位	国保						後期					
	外来			入院			外来			入院		
	疾患	医療費	割合	疾患	医療費	割合	疾患	医療費	割合	疾患	医療費	割合
1	新生物＜腫瘍＞	210	16.6%	循環器系の疾患	162	19.2%	循環器系の疾患	276	18.5%	循環器系の疾患	264	19.3%
2	内分泌、栄養及び代謝疾患	169	13.3%	新生物＜腫瘍＞	156	18.4%	筋骨格系及び結合組織の疾患	210	14.1%	筋骨格系及び結合組織の疾患	143	10.5%
3	筋骨格系及び結合組織の疾患	157	12.4%	精神及び行動の障害	151	17.9%	新生物＜腫瘍＞	188	12.6%	新生物＜腫瘍＞	140	10.2%
4	循環器系の疾患	149	11.8%	筋骨格系及び結合組織の疾患	77	9.1%	内分泌、栄養及び代謝疾患	168	11.3%	呼吸器系の疾患	136	9.9%
5	尿路性器系の疾患	115	9.1%	消化器系の疾患	52	6.1%	尿路性器系の疾患	160	10.8%	精神及び行動の障害	127	9.3%
	それ以外	466	36.8%	それ以外	248	29.3%	それ以外	487	32.7%	それ以外	248	18.1%
	総医療費	1,265	100.0%	総医療費	847	100.0%	総医療費	1,489	100.0%	総医療費	1,369	100.0%

・大分類疾患別医療費の国保では「新生物＜腫瘍＞」が上位だが、後期では「循環器系の疾患」「筋骨格及び結合組織の疾患」が上位となっている。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(2) 医療費の状況

④ 疾患別医療費の特徴(KDB:健康スコアリング(医療) R04年度
細小分類(KDB:大・中・細小分類) 医療費＝百万円単位

	国保						後期					
	外来			入院			外来			入院		
	疾患	医療費	割合	疾患	医療費	割合	疾患	医療費	割合	疾患	医療費	割合
1	糖尿病	109	8.6%	統合失調症	75	8.8%	糖尿病	118	7.9%	骨折	80	5.8%
2	高血圧症	74	5.8%	不整脈	35	4.2%	高血圧症	97	6.5%	不整脈	59	4.3%
3	関節疾患	60	4.7%	脳梗塞	33	3.9%	慢性腎臓病 (透析あり)	89	6.0%	認知症	47	3.4%
4	慢性腎臓病 (透析あり)	50	4.0%	関節疾患	32	3.7%	関節疾患	87	5.9%	狭心症	41	3.0%
5	脂質異常症	43	3.4%	骨折	28	3.3%	不整脈	70	4.7%	肺炎	41	3.0%
6	骨粗しょう症	36	2.9%	脳出血	24	2.9%	骨粗しょう症	57	3.8%	慢性腎臓病 (透析あり)	41	3.0%
7	不整脈	27	2.1%	大腸がん	21	2.5%	前立腺がん	54	3.7%	関節疾患	40	2.9%
8	気管支喘息	25	2.0%	慢性腎臓病 (透析あり)	18	2.1%	肺がん	39	2.6%	脳梗塞	37	2.7%
9	肺がん	24	1.9%	認知症	17	2.1%	脂質異常症	36	2.4%	肺がん	31	2.3%
10	緑内障	21	1.7%	狭心症	16	1.9%	緑内障	28	1.9%	うつ病	31	2.2%
	それ以外	797	63.0%	それ以外	548	64.7%	それ以外	813	54.6%	それ以外	921	67.3%
	総医療費	1,265	100.0%	総医療費	847	100.0%	総医療費	1,489	100.0%	総医療費	1,369	100.0%

・細小分類疾患別医療費では、国保後期とも「糖尿病」が外来の上位である。・後期医療費の入院では「骨折」が上位となっている。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(2) 医療費の状況

⑤ 生活習慣病の医療費の特徴(KDB:生活習慣病分類) R04年度

	国保			後期		
	レセ件数	医療費割合	県割合	レセ件数	医療費割合	県割合
脂質異常症	3,828	2.0%	2.2%	2,708	1.3%	1.4%
高血圧症	6,839	3.5%	3.4%	7,571	3.4%	3.5%
糖尿病	4,309	5.4%	5.9%	4,577	4.4%	4.5%
脳梗塞・脳出血	382	3.0%	2.0%	651	2.1%	3.4%
虚血性心疾患	441	1.6%	1.5%	713	2.2%	1.8%

⑥ 医療費に占める生活習慣病割合 R04年度

	医療費全体	うち生活習慣病	割合
国保	56,489	28,782	51.0%
	211,177,576	113,073,908	53.5%
後期	61,368	29,434	48.0%
	285,795,709	121,896,658	42.7%

レセプト件数

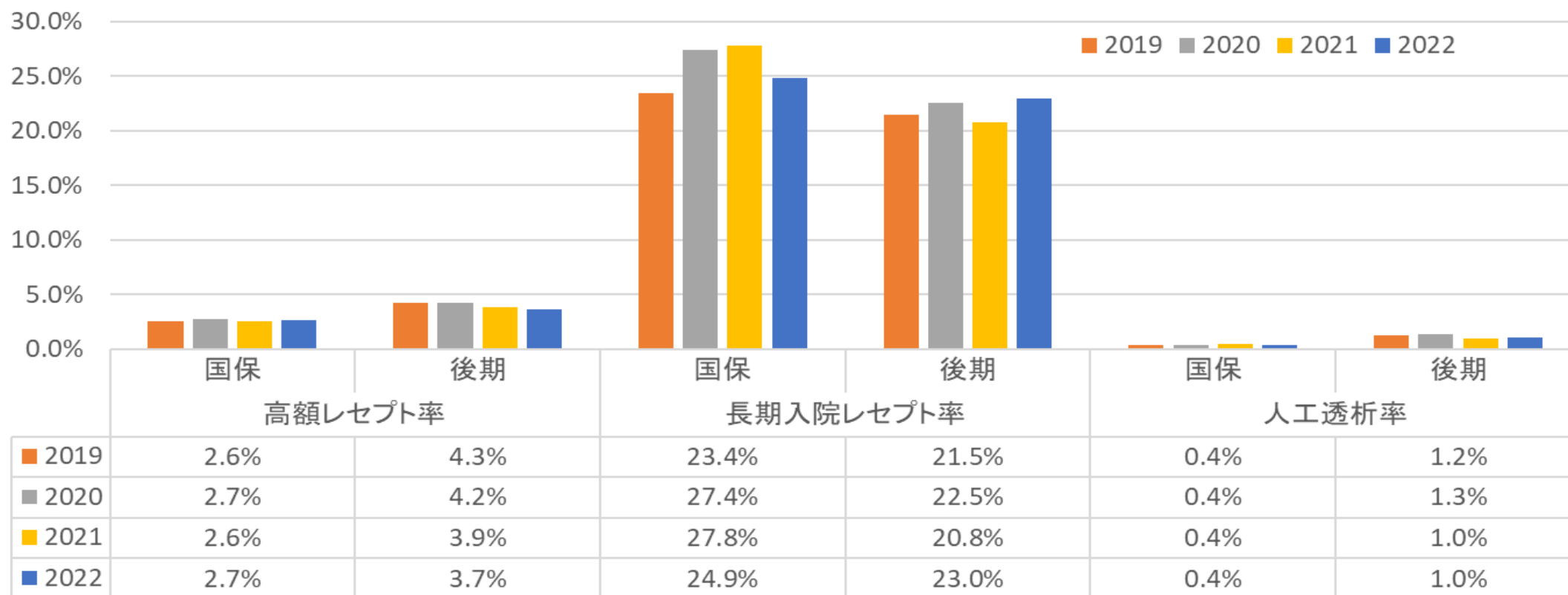
医療費点数

・生活習慣病の医療費割合において、国保は「高血圧症」「脳梗塞・脳出血」「虚血性心疾患」、後期は「虚血性心疾患」が県平均を超えている。
・医療費に占める生活習慣病の割合が、国保後期ともに半分近くを占めている。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(2) 医療費の状況

⑦ 高額レセプト、長期入院レセプト、人工透析の割合（健康スコアリング（医療））



・国保と後期を比較すると「高額レセプト率」「人工透析率」は後期で大きく上昇している。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(3) 介護の状況

① 介護保険被保険者構成(KDBシステム:地域の全体像の把握、要介護者認定状況) R04年度

	2号	1号	
年齢	40～64歳	65～74歳	75歳以上
被保険者数(人)	7,939	4,494	3,517
認定者数(人)	17	94	818
認定率(%)	0.2%	2.1%	23.3%
県・認定率(%)	0.4%	19.6%	
国・認定率(%)	0.4%	19.4%	
新規認定者数(人)	0	3	17
新規認定率	0.00%	0.07%	0.48%

・要介護者認定者の割合は、県や国の認定率より低い。
 ・介護サービス利用率(分母:認定者)は県や国の割合より高い。

② 介護保険認定率・サービス利用率(KDBシステム:健康スコアリング(介護)) R04年度

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
認定率 (分母:被保険者)	保険者	0.7	1.0	2.3	2.6	1.8	2.0	1.0	11.4
	県	2.7	2.4	4.5	3.1	2.6	2.7	1.7	19.7
	同規模	2.1	2.3	3.5	2.9	2.4	2.3	1.5	17
	国	2.7	2.7	4.1	3.2	2.6	2.5	1.7	19.5
サービス利用率 (分母:認定者)	保険者	2.2	4.0	16.5	20.0	14.9	16.0	7.8	81.4
	県	5.8	7	19	14.3	12.5	12.8	8.1	79.5
	同規模	5.4	8	17.3	15.5	12.8	12.3	7.9	79.2
	国	5.5	7.7	17.4	15.1	12.4	11.8	7.7	77.6

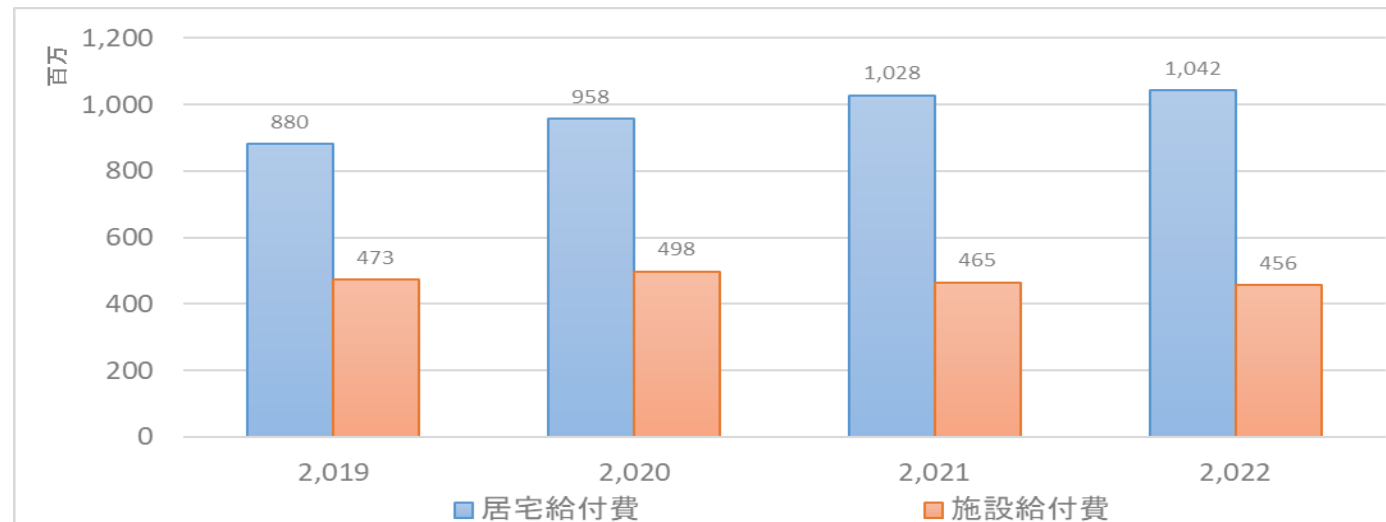
3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(3) 介護の状況

③ 要介護(支援)認定者の疾患別有病状況(KDBシステム:地域の全体像の把握) R04年度

	糖尿病(%)	高血圧症(%)	脂質異常症(%)	心臓病(%)	脳疾患(%)	がん(%)	筋・骨格(%)	精神(%)	認知症 (精神再掲) (%)	アルツハイマー病 (%)
保険者	232人	499人	257人	574人	193人	73人	489人	398人	290人	230人
	24.4	52.8	27.3	60.6	21.3	7.9	51.3	41.2	29.8	22.9
県	25.1	55.8	33.1	62.5	23.2	10.7	54.0	34.6	22.6	17.4
同規模	24.5	52.9	31.5	59.8	22.9	11.1	52.5	36.4	24.0	18.1
国	24.3	53.3	32.6	60.3	22.6	11.8	53.4	36.8	24.0	18.1

④ 介護給付費の推移(KDBシステム:健康スコアリング)

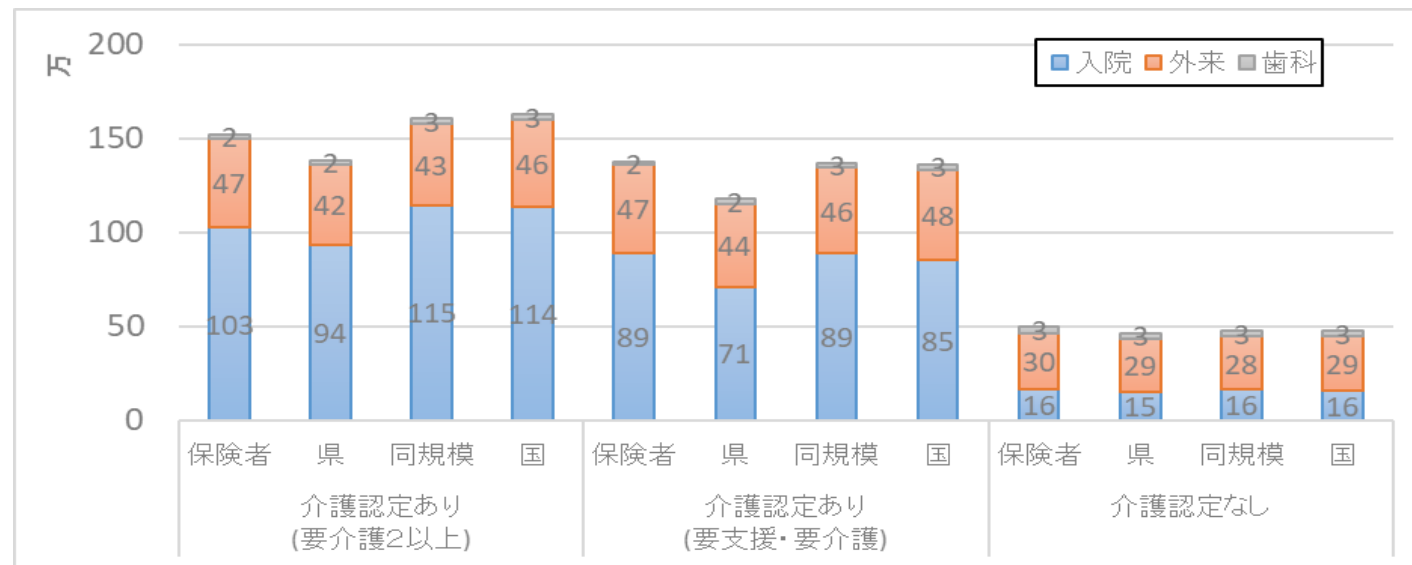


・要介護(支援)認定者の疾患別有病状況では「精神」「認知症(精神再掲)」「アルツハイマー病」の割合が、県や国の割合を大きく超えている。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(3) 介護の状況

⑤ 要介護(支援)認定者の1人あたり医科医療費(KDBシステム:健康スコアリング) R04年度



・要介護(支援)認定者の1人あたり医科医療費では県平均を超えている。

保険者

	介護認定あり		介護認定なし
	(要介護2以上)	(要支援・要介護)	
入院	1,025,848	890,921	163,649
外来	474,811	468,230	302,037
歯科	18,215	19,202	32,205

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(3) 介護の状況

⑥ 1件あたり要介護度別介護給付費(KDBシステム:地域の全体像の把握) R04年度

	保険者	県	同規模	国
総認定者(円)	64,893	62,233	63,000	59,662
要支援1(円)	10,854	8,459	9,691	9,568
要支援2(円)	6,943	11,647	13,149	12,723
要介護1(円)	39,598	38,249	39,670	37,331
要介護2(円)	46,874	48,022	48,470	45,837
要介護3(円)	75,403	81,393	83,616	78,504
要介護4(円)	96,326	109,045	110,877	103,025
要介護5(円)	108,720	117,228	122,572	113,314

⑧ 標準化死亡比(KDBシステム:地域の全体像の把握) R04年度

	男	女
保険者	94.6	94.7
県	100.4	103.4
同規模	98.7	99.7
国	100.0	100.0

※数値:人口動態保健所・市区町村別統計

⑦ 居宅・施設サービス事業所情報(KDBシステム:地域の全体像の把握) R04年度

	事業所数 (居宅)	千人当たり 事業所数(居宅)	事業所数 (施設)	千人当たり 事業所数(施設)
保険者	57	3.59	2	0.13
県	4,284	3.90	247	0.23
同規模	6,186	2.31	533	0.20
国	196,711	2.61	13,202	0.18

- ・1件あたり介護給付費が県や国の平均を超えている。
- ・居宅・施設サービス事業所の千人あたり事業所数は県平均より低い。
- ・標準化死亡比では男女とも100未満である。

3 健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出

(4) 健康課題の抽出・明確化

背景

- 国保の加入率は県平均より低い、平均年齢は県平均より高く、前期高齢者の割合が62.1%となっています。
- 本町の地理的環境・地区別人口の状況など総合的判断から、町全体を1つの日常生活圏域としています。
- 特定健診の受診率は50%を超え県平均より高いことから、健康への関心は高いと言えます。

不適切な生活習慣

- 問診結果から、男女とも「1回30分以上の運動習慣なし」「1日1時間以上の運動なし」「歩行速度が遅い」に該当が50%以上です。
- 男性では「20歳時から10kg以上体重増加」「毎日飲酒」「改善意欲なし」などが高い割合です。
- 女性では「3食以外間食 毎日」「改善意欲なし」「20歳時から10kg以上体重増加」などが高い割合です。

生活習慣病 ↓ 重症化

- 医療費に占める生活習慣病の割合が50%を超えています。
- 国保、後期とも外来の疾患別医療費の1位が「糖尿病」、2位が「高血圧症」となっています。
- 国保から後期になると、医療費全体で約1.3倍となっており、さらに増加の傾向です。

医療 ・ 介護

- 一人あたり医療費および受診率では、県平均を大きく上回っています。
- 医療費では、国保は「新生物〈腫瘍〉」、後期は「循環器系の疾患」続いて「筋骨格系及び結合組織の疾患」が上位となっています。
- 要介護(支援)認定者の疾患別有病状況では「精神」「認知症」「アルツハイマー病」の割合が県平均を超えています。

4 目標

本町は他市町より一人あたり医療費が高額なため、主に生活習慣等に起因する疾病の早期発見、早期治療及び保健指導の強化による重症化予防が重要となります。

目標の設定にあたっては、県内地域それぞれの健康課題を、他保険者との比較、俯瞰的、客観的な状況を把握するため共通の評価指標を設け、健康課題の分析や評価等の一連の流れを共通化し、経年的なモニタリング等により、県や国保連合会からの支援を受け、効果的に事業を進めることを目指します。

このことから、本町の保健事業と目標を以下のとおり設定します。

(1) 全体目標

	目標項目	評価指標	現状値 (令和4年度実績)		令和8年度目標値 (令和7年度実績)		令和11年度目標値 (令和10年度実績)	
0-1	健康寿命の延伸(男女別)	平均自立期間(男女別)	男性	81.70歳	男性	82.09歳	男性	82.47歳
			女性	84.10歳	女性	85.00歳	女性	85.86歳
0-2	医療費適正化の推進	一人あたり医療費	492千円		512千円		531千円	

4 目標

(2) 個別保健事業

	目標項目/事業目	評価指標		現状値 (令和4年度実績)	令和8年度目標値 (令和7年度実績)	令和11年度目標値 (令和10年度実績)
1-1	特定健診	アウトカム指標	特定健診受診率	51.8%	55.9%	60.0%
1-2		アウトプット指標	健診無関心者の減少	41.0%	36.0%	31.0%
2-1	特定保健指導	アウトカム指標	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	10.0%	22.5%	35.0%
2-2		アウトプット指標	特定保健指導終了率	6.0%	30.0%	60.0%
3-1	糖尿病性腎症重症化 予防	アウトカム指標	糖尿病腎症の新規人工透析導入患者数の減少	1人	0人	0人
3-2			HbA1c8.0%以上の者の割合	0.82%	0.81%	0.80%
3-3		アウトプット指標	受診勧奨後の医療機関受診率	40.4%	50.0%	60.0%
3-4			保健指導実施率	0.0%	15.0%	30.0%
4-1	重複頻回受診/重複・ 多剤服薬	アウトカム指標	重複・多剤投与者の減少	115人	103人	92人
4-2		アウトプット指標	対象者への指導率(電話、対面)	0.0%	3.5%	7.0%
5-1	後発医薬品使用促進	アウトカム指標	後発医薬品使用率	80.5%	80.5%	80.5%
5-2		アウトプット指標	差額通知発送対象者の減少	2.2%	2.1%	2.0%

5 保健事業の内容

(1) 特定健診

生活習慣病の発症・重症化予防及び医療費の適正化を図るため、東員町国民健康保険被保険者のうち40歳以上75歳未満の人に特定健診を実施することにより、健康寿命の延伸を目指します。

【実施体制】

- ・主体: 保険年金課、健康長寿課
- ・協力: 医師会

【実施内容】

- ・実施期間: 7～11月
- ・対象者: 40歳以上75歳未満の国保加入者
- ・実施場所: 県内医療機関、委託契約医療機関(人間ドック)、保健福祉センター(集団)
- ・委託契約機関において実施。受診率向上のため、県内医療機関での受診の他に、人間ドックとがん検診とのセット健診(集団)を実施する。
- ・健診未受診者に対して受診勧奨(ハガキ)を実施する。
- ・広報、HPでの周知・啓発。国保加入者へ随時で案内を行う。

5 保健事業の内容

(2) 特定保健指導

生活習慣病の発症・重症化予防及び医療費の適正化を図るため、特定健康診査の結果、糖尿病、高血圧症又は脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している人を除いて、腹囲の他、血圧、血糖、脂質が所定の値を上回る人を特定保健指導の対象者に選定し、さらに追加リスクの多少と喫煙歴の有無により、動機付け支援と積極的支援に区別して保健指導を実施します。

【実施体制】

- ・主体：保険年金課
- ・実施：委託機関

【実施内容】

- ・実施期間：1～3月（前期）、翌年度4～9月（後期）
- ・対象者：特定健康診査受診結果に基づき、保健指導が必要とされた者
- ・実施場所：保健福祉センター
- ・受診勧奨から保健指導までを事業者へ委託して実施する。対象者が自らの健康状態を自覚し、行動変容の必要性を実感できるように働きかけを行い、実践可能な具体的な行動目標について、優先順位をつけながら一緒に考え、対象者を支援する。
- ・広報、HPでの周知・啓発。国保加入者へ随時で案内を行う。

5 保健事業の内容

(3) 糖尿病性腎症重症化予防

糖尿病は循環器疾患、人工透析の原因となる糖尿病性腎症の基礎疾患であり、生活習慣病の中でも糖尿病の医療費は高額となっていることから、発症及び重症化の予防に向けた効果的な保健事業を実施します。

【実施体制】

主体：保険年金課、健康長寿課

協力：医師会、町内専門医

【実施内容】

- ・実施期間：7～3月
- ・対象者：特定健康診査受診結果に基づき、介入支援が必要とされた者
- ・健康づくり部局の保健師による直営で実施する。
- ・更なる展開に向けて、町内の糖尿病専門医と連携し、医療関係者と行政保健師による「糖尿病性腎症重症化予防勉強会」を開催するなど、専門医との連携の体制構築を図る。
- ・広報、HPでの周知・啓発。国保加入者へ随時で案内を行う。

5 保健事業の内容

(4) 重複頻回受診/重複・多剤服薬

重複頻回受診から、重複投与や過剰投与へ繋がり、その結果、被保険者の健康を損なう可能性があるため、幅広い年齢層を対象に受診指導等を行います。

【実施体制】

主体：保険年金課、健康長寿課

【実施内容】

- ・実施期間：随時
- ・対象者：KDBやレセプトから保健指導が必要とされた者
- ・健康づくり部局の保健師による直営で実施する。

5 保健事業の内容

(5) 後発医薬品使用促進

医療費の抑制を目的に、周知・啓発を行います。使用率が向上すると、差額通知効果額も増加するため、医療費の抑制に繋がります。

【実施体制】

- ・主体: 保険年金課

【実施内容】

- ・自己負担の抑制に繋がる差額通知を実施する。
- ・ジェネリックを希望する旨のシールやカードケースを配布する。
- ・広報、HPでの周知・啓発。国保加入者へ随時で案内を行う

6 第4期特定健康診査等実施計画

(1) 基本的事項

【計画の趣旨】

我が国は、国民皆保険のもと、誰もが安心して医療を受けることができる医療制度を実現し、世界有数の平均寿命となっています。

しかしながら、受療の実態を見ると、高齢期に向けて生活習慣病の外来受療率が徐々に増加し、次に75歳頃を境にして生活習慣病を中心とした入院受療率が上昇しています。これを個人に置き換えてみると、不適切な食生活や運動不足等の不健康な生活習慣がやがて糖尿病、高血圧症、脂質異常、肥満症等の発症を招き、外来通院及び投薬が始まり、生活習慣の改善がないままに、虚血性心疾患や脳血管疾患等の発症に至るという経過をたどることになります。

このため、生活習慣の改善による糖尿病等の生活習慣病の予防対策を進め、糖尿病等を予防することができれば、通院患者を減らすことができ、この結果、生活の質の維持及び向上を図りながら医療費の伸びの抑制を実現することが可能となります。

糖尿病等の生活習慣病の発症には、内臓脂肪の蓄積(内臓脂肪型肥満)が関与しており、肥満に加え、高血糖、高血圧等の状態が重複した場合には、虚血性心疾患、脳血管疾患等の発症リスクが高くなることから、メタボリックシンドロームの概念を踏まえ適度な運動やバランスのとれた食事の定着などの生活習慣の改善を行うことにより、糖尿病等の発症リスクの低減を図ることが可能となります。

6 第4期特定健康診査等実施計画

(1) 基本的事項

特定健康診査は、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣を改善するための特定保健指導を必要する者を、的確に抽出するために行うものです。

東員町においても、平成30年4月に、特定健康診査等の具体的な実施方法や実施による成果に関する具体的な目標など定めた「東員町特定健康診査等実施計画」(第3期 計画期間:平成30年度～令和5年度)を策定しました。

本計画は、第3期における実施結果を踏まえ、データヘルス計画(第2期 計画期間:平成30年度～令和5年度)とともに見直しを行い、新たに第4期特定健康診査等実施計画を策定するものです。

【計画期間】

第4期東員町特定健康診査等実施計画期間は、令和6年度から11年度の6か年とし、第3期データヘルス計画と一体的に策定します。

6 第4期特定健康診査等実施計画

(1) 基本的事項

【特定健診の状況】

第3章「健康・医療情報等の分析・分析結果に基づく健康課題の抽出」を参照。

【達成しようとする目標】

第4章「目標」の「特定健診」「特定保健指導」に係る目標値等は第4期期特定健康診査等実施計画において適用する。

※第4章の「特定健診」「特定保健指導」に係る目標値を再掲

目標項目/事業目	評価指標		現状値 (令和4年度実績)	令和8年度目標値 (令和7年度実績)	令和11年度目標値 (令和10年度実績)
特定健診	アウトカム指標	特定健診受診率	51.8%	55.9%	60.0%
	アウトプット指標	健診無関心者の減少	41.0%	36.0%	31.0%
特定保健指導	アウトカム指標	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	10.0%	22.5%	35.0%
	アウトプット指標	特定保健指導終了率	6.0%	30.0%	60.0%

6 第4期特定健康診査等実施計画

(1) 基本的事項

【個人情報保護】

特定健康診査及び特定保健指導で得られる健康情報等の取扱いについては、東員町個人情報保護条例、同条例施行規則を踏まえた対応を行います。

特定健康診査及び特定保健指導を外部に委託する際は、個人情報の厳重な管理や、目的外使用の禁止等を契約書に定めるとともに、委託先の契約遵守状況を管理していきます。

特定健康診査及び特定保健指導の記録の保存については、保存期間を特定健康診査受診の翌年の4月1日から5年間とします。

6 第4期特定健康診査等実施計画

(1) 基本的事項

【特定健康診査等実施計画の公表・周知】

高齢者の医療の確保に関する法律第19条第3項に基づき、特定健康診査等実施計画を、町ホームページに掲載します。

また、被保険者に特定健康診査・特定保健指導を実施する必要性の周知を図り、前向きな実施への協力（積極的な受診等）が得られるよう、広報及び町ホームページなどを活用し、メタボリックシンドロームに関する情報提供を行います。

【特定健康診査等実施計画の評価及び見直し】

保険運営の健全化の観点から、PDCAサイクルに基づく実施計画の進行管理及び評価を行い、実施状況に応じて、実態に即した効果的な計画の見直しを行います。

6 第4期特定健康診査等実施計画

(2) 特定健康診査

【対象者】

特定健康診査の対象者は、本町の国民健康保険被保険者で、40～74歳の人を対象となります。
なお、妊産婦等の除外規定の該当者（刑務所入所中、海外在住、長期入院等）は除きます。

【対象者数等】

	現状値 (令和4年度実績)	令和6年度目標値 (令和5年度実績)	令和7年度目標値 (令和6年度実績)	令和8年度目標値 (令和7年度実績)	令和9年度目標値 (令和8年度実績)	令和10年度目標値 (令和9年度実績)	令和11年度目標値 (令和10年度実績)
特定健診対象者数(推計)	3,784人	3,746人	3,709人	3,672人	3,635人	3,599人	3,563人
特定健診受診率(目標値)	51.8%	53.2%	54.6%	55.9%	57.3%	58.7%	60.0%
特定健診受診予定者数(推計)	1,962人	1,991人	2,021人	2,052人	2,081人	2,109人	2,138人

6 第4期特定健康診査等実施計画

(2) 特定健康診査

【実施内容】

対象者全員が受ける「基本的な健診項目」及び医師が必要と判断した場合に受ける「詳細な健診項目」は以下のとおりです。

基本的な健診項目	○診察・問診・身体測定(身長、体重、BMI、腹囲) ○血圧測定 ○検尿(尿糖、尿潜血、尿蛋白) ○採血 ・脂質検査(中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール) ・血糖検査(空腹時血糖(やむを得ない場合は随時血糖)、HbA1c検査) ・肝機能検査(AST、ALT、γ-GT、アルブミン) ・腎機能検査(BUN) ・尿酸代謝検査(尿酸)
詳細な健診項目	○心電図検査 ○貧血検査(赤血球数、血色素量、ヘマトクリット値) ○腎機能検査(血清クレアチニン、eGFR) ○眼底検査

※詳細な健診項目の選定については、一定の基準により、医師が必要と認める人について実施します。

6 第4期特定健康診査等実施計画

(2) 特定健康診査

【実施場所と期間】

	実施場所	実施期間
個別健診	三重県内の指定医療機関	7月～11月
人間ドック	三重県内の指定医療機関	7月～11月
集団健診(がん検診をセットにした総合健診)	保健福祉センター	8月～9月

※個別健診は三重県内の集合契約、人間ドック・集団検診は個別契約により実施します。

【周知や案内方法】

対象者ごとに受診券を送付し、特定健康診査の実施を周知するとともに、広報及び町ホームページに掲載し周知を図ります。なお、受診券の発送時期は、健診開始月の前月末日までとします。

また、受診券送付後、一定の期間が経過した時点で、未受診者に対し受診勧奨を行います。

6 第4期特定健康診査等実施計画

(2) 特定健康診査

【健診結果の報告】

健診結果については、生活習慣病予防のための基本的な情報提供など受診した医療機関で実施します。

【年間スケジュール】

別添「年間スケジュール」のとおり

6 第4期特定健康診査等実施計画

(3) 特定保健指導

【対象者】

特定保健指導の対象者の選定と階層化は、特定健康診査の結果に基づいて選定します。

腹囲の他、血糖、血圧、脂質が所定の値を上回る者のうち、糖尿病、高血圧症又は脂質異常症の治療に係る薬剤を服用している者を除きます。

【対象者数等】

	現状値 (令和4年度実績)	令和6年度目標値 (令和5年度実績)	令和7年度目標値 (令和6年度実績)	令和8年度目標値 (令和7年度実績)	令和9年度目標値 (令和8年度実績)	令和10年度目標値 (令和9年度実績)	令和11年度目標値 (令和10年度実績)
特定保健指導対象者数(推計)	167人	165人	164人	162人	160人	159人	157人
特定保健指導終了率(目標値)	6.0%	10.0%	20.0%	30.0%	40.0%	50.0%	60.0%
特定保健指導終了者数(推計)	6人	17人	33人	49人	64人	79人	94人

6 第4期特定健康診査等実施計画

(3) 特定保健指導

【特定保健指導の対象者(階層化)】

腹囲	追加リスク	④喫煙歴	対象	
	①血糖 ②脂質 ③血圧		40～64歳	65～74歳
≥85cm(男性) ≥90cm(女性)	2つ以上該当		積極的支援	動機付け支援
	1つ該当	あり		
			なし	
上記以外で BMI≥25	3つ該当		積極的支援	動機付け支援
	2つ該当	あり		
			なし	
	1つ該当			

※喫煙歴の斜線欄は、階層化の判定が禁煙歴の有無に関係ないことを意味する。

※BMI: 肥満度を測るための指標。「体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)」で算出される。

※保健指導の対象となる基準

①血糖: 空腹時血糖が 100mg/dl 以上または HbA1c が 5.6% 以上

②脂質: 空腹時中性脂肪 150mg/dl 以上(やむを得ない場合は随時中性脂肪 175mg/dl 以上)またはHDLコレステロール 40mg/dl 未満

③血圧: 収縮期 130mmHg 以上または拡張期 85mmHg 以上

6 第4期特定健康診査等実施計画

(3) 特定保健指導

【実施内容】

厚生労働省の示す「標準的な健診・保健指導プログラム」及び「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」の内容を準拠し、生活習慣病の予防・改善に係る行動変容を目的とした保健指導を実施します。

	期間・回数等	実施方法	支援内容
動機付け支援	原則1回	個別面談またはグループ面談による支援	個別面談20分以上またはグループ面談80分以上
積極的支援	3ヶ月以上の継続的な支援	個別面談またはグループ面談、電話、電子メールなどによる支援	保健指導プログラムによる支援ポイント数で、180ポイント以上

6 第4期特定健康診査等実施計画

(3) 特定保健指導

【実施場所と期間】

	実施場所	実施期間
動機付け支援	保健福祉センター	翌年3月までに初回面談を行う
積極的支援	保健福祉センター	翌年3月までに初回面談を行う

【周知や案内方法】

特定健康診査の受診後に、特定保健指導の対象者に対して利用券を送付し、指導の開始を周知するとともに、広報及び町ホームページに掲載し周知を図ります。

また、利用券送付後、一定の期間が経過した時点で、利用の申込みがない場合は、電話等の通信手段を活用し積極的に利用勧奨を実施します。

【年間スケジュール】

別添「年間スケジュール」のとおり

6 第4期特定健康診査等実施計画

(4) 年間スケジュール

	特定健康診査	特定保健指導	がん検診	その他
4月				広報への掲載
5月				
6月	受診券の送付			
7月	特定健康診査の開始		個別検診	
8月			集団検診(保健福祉センター)	
9月				
10月				受診勧奨通知の発送
11月	終了			
12月				
1月		特定保健指導対象者の抽出		
2月		利用券等の印刷・送付 特定保健指導の受付開始		
3月		受付終了		

※状況に応じスケジュールは変動します。

7 計画の評価・見直し

計画の評価は、計画最終年度のみならず中間時点等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行います。また、計画の最終年度においては、上半期に仮評価を行います。

評価は、中長期的な計画運営を行うものであることを踏まえ、短期ではアウトカム（評価）による評価を行うこととし、可能な限り数値を用いて行います。

評価体制は、幅広い部局の関わりが必要となることから、健康づくり部局及び介護部局と連携して行います。また、評価に当たっては、必要に応じ広域連合等と連携します。

計画に盛り込んだ個別の保健事業の実施状況等については、計画における目標等を踏まえた評価指標を個別に設定し、毎年度、評価を行った上で、必要に応じて翌年度の保健事業の実施内容等の見直しを行います。

8 計画の公表・周知

策定した第3期データヘルス計画は町ホームページに掲載します。

9 個人情報の取扱い

東員町における個人情報の取扱いは、東員町個人情報保護条例、同条例施行規則によるものとします。
個人情報の保護に関する各種法令・ガイドラインに基づき、庁内等での利用等の場面で、その保有する個人情報の適切な取扱いが確保されるよう措置を講じます。

10 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

医療・介護・予防・住まい・生活支援など暮らし全般を支えるための直面する課題などについての議論（地域ケア会議）に、国保保険者としてKDBデータなどを活用し、課題を抱える被保険者層の分析をするなど、介護部局の取組の支援を行います。

東員町国民健康保険第3期データヘルス計画
東員町第4特定健康診査等実施計画
(令和6年度～令和11年度)



東員町保険年金課
〒511-0295
三重県員弁郡東員町大字山田1600番地
Tel.0594-86-2805